

ながや
長屋
やまと

略
歴

1993年7月生まれ
名城大学卒業
総合アパレルメーカー勤務
衆議院議員 岡本みつのり 秘書



若い力を活かし明るく元気な津島市へ

ご挨拶

4月に入り春風が心地よい季節となりましたが、皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。さて、令和2年度3月定例会が2月25日から3月25日までの30日間、開催されました。私は市民病院について、一般質問をしました。

また、私が副委員長を務める厚生病院委員会では、放課後児童クラブの設備や運営に関する基準の条例を一部改正、令和元年度津島市後期高齢者医療特別会計補正予算等の議案などを審議しましたので皆様方にご報告させていただきます。

最後になりますが、新型コロナウイルス関連のニュースが日々メディアに溢れ気が重くなりますが、こまめな手洗いうがいなどの対策を徹底し休養と栄養をしっかりととり、免疫力をあげて、この季節を乗り切ってまいりましょう。

どうぞご自愛くださいませ。



津島市議会中継

質問者：長屋大和 議員

質問事項：①市民病院について

後援会事務所 〒496-0026 津島市唐臼町油田 64-1-B101

後援会事務局 〒492-8181 稲沢市日下部北町 4-1-3 岡本みつのり事務所内
TEL 0587-24-8164 FAX 0587-24-8165

● 市民病院について

【質問】 毎年、患者さんに対してアンケートを行っているが、その結果は例年と比較してどうでしょうか。

【答弁】 入院総合評価は「満足」が70%、昨年度より5ポイント、一昨年度より7ポイント上昇しております。外来総合評価は「満足」が48%、昨年より2ポイント、一昨年度より5ポイント上昇した。「やや満足」含めると9割以上の方から支持されている状況です。少しずつではありますが、患者さんからは満足であったと御回答いただいた割合が年々増加しています。今後もさらなるサービスの向上を図り、信頼される病院づくりに努めていきたいと考えております。



(写真：津島市ホームページより)



【質問】 市民病院の小児科の常勤医師確保の見通しはどうでしょうか。

【答弁】 小児科医につきましては、令和元年7月以降常勤医師が不在で、代務医師による外来診療を行っております。常勤医師確保に向け大学へ、働きかけを続けているが、確保は困難な状況であります。

【質問】 入院患者数の経路別割合の内訳はどうなっていますか。

【答弁】 入院患者の令和2年度1月末現在は、外来からの入院が約46%、救急からの入院が約35%、紹介からの入院が約19%、であります。

【質問】 他院からの紹介が低いですが、これを向上させるためにはどのように取り組むのでしょうか。

【答弁】 定期的に地域の医療機関への訪問、PR等を行い、地域の医療機関との信頼関係を高めて、当院での入院治療が必要な患者さんをより多く紹介していただくことに力を入れてまいります。



【質問】 令和2年度診療報酬改定は市民病院にとって有利な改定でしょうか。

【答弁】 出来高計算による概算で、既に取得済みの施設基準の影響額は年間約3,000万円の増額、新たに入退院支援加算等の取得ができればさらに、約3,800万円の増額のため、有利な改定だと認識しております。

〔津島市議会会議録 確定稿・未定稿の原文から抜粋〕



心身障害児者保護者会チャリティコンサート



ミニ懇談会

市民の皆様とともに

地元の方と懇談会を開き、市政に対しての貴重なご意見をいただくことや、多くの地域主催イベントにも積極的に参加しています。